

大阪大学大学院医学系研究科修士課程医科学専攻の入試が平成 26 年度実施分より変わります。英訳解読が廃止され、TOEFL または IELTS のスコアを利用することとなりました。(団体特別受験制度 TOEFL ITP は利用できません。) スコアの有効期限は、2012 年 7 月 ~ 2014 年 6 月実施分となります。複数回の受験結果で一番良いものを提出できますので、受験予定の方は早めの準備をお勧めします。(入試内容の変更について詳細は http://www.med.osaka-u.ac.jp/files/syushi/shushi_henkou.pdf を御覧ください。)

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) <http://www.ets.org/jp/toefl/>

北米の大学に留学する際に必要とされる英語力を想定したアカデミックな試験内容です。ETS (Education Testing Service) という団体により主催されています。世界各国の公認テストセンターで年間 50 回以上実施される、コンピュータ上で執り行われる試験です。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの 4 つのセクションにわかれており、試験時間は 4 時間から 4 時間 30 分です (人によって時間が異なります)。スピーキングもモニターを通してパソコン上で行われます。試験官と対話するのではなく、要求される回答についてスピーチしたものを採点されるという形式です。試験は何度でも受けることができますが、次回の受験まで 12 日間あける必要があります。受験料は国によって異なり、日本の場合 \$ 225 です。(変更される可能性がありますので、<http://www.ets.org/jp/toefl/ibt/about/fees/> より受験料支払いについてご確認ください。) オンライン、郵送、電話による申し込み方法があります。オンラインで 24 時間申し込み可能ですが、各テスト日の 7 日前が締め切りです。(手数料を \$ 35 余分に支払えば 3 日前まで受け付けてくれます。) 申し込み方法について、詳しくは <http://www.ets.org/jp/toefl/ibt/register/> に記載されています。

主催団体の ETS 公認の公式テキストが販売されており、一般書店でも入手が可能です。リスニングの音声が本番と同じですので、他のテキストを使用される場合も公式テキストを併用されたほうがよいでしょう。

< 公式教材オンラインショップ http://www.cieej.or.jp/toefl/ets_shop/ >

IELTS (International English Language Testing System) <http://www.eiken.or.jp/ielts/>

イギリス、カナダ、オーストラリアなどへの留学や、英語圏への移住申請に最適なテストです。IELTS はブリティッシュ・カウンシル、IDP : IELTS オーストラリア、ケンブリッジ大学 ESOL が共同運営で保有するプロダクトで、世界 120 カ国の 500 以上の会場で受験することができます。公益財団法人日本英語検定協会は、日本国内における実施運営及び広報活動をしています。日本では全国 13 都市で毎週実施されており、連続受験が可能です。

リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの 4 つのテストを全て受験する必要があります。4 つのテストの合計所要時間は約 2 時間 45 分です。リスニング、リーディング、ライティングの筆記試験は同日に実施されます。各セクションの間に休憩時間はありません。スピーキングテストは IELTS の世界的な規定により、筆記試験の前後 6 日以内に行われます。こちらは実際に試験官と対面してのスピーキングテストとなります。通常、東京・大阪の試験会場では、筆記試験の翌日にスピーキングテストが実施されます。詳しいタイムテーブルは、筆記試験の 2 週間前に発送される受験票に掲載されますので、必ずご確認ください。なお、スピーキング試験の日時の指定はできません。

インターネットと郵送で受験の申し込みができます。各試験日 5 週間前の金曜日午後 5 時が締め切りです(ただし木曜日実施の試験に関しては、試験日 5 週間前の水曜日午後 5 時)。1 回に限り受験日の変更が可能です。受験手数料は 24,675 円です。(こちらにも変更される可能性がありますので、申し込み方法と併せて <http://www.eiken.or.jp/ielts/apply/> より最新の情報をご確認ください。) 注意点として、申し込みの際に本人確認のための有効期限内「パスポート」が必要ですので、パスポートをお持ちでない方で IELTS 受験を希望される方は事前にパスポートを取得してください。

こちらのテストも主催団体のひとつであるケンブリッジ大学 ESOL が自習用問題集を販売しており、一般書店で入手が可能です。

<ケンブリッジ大学の IELTS 教材紹介ページ

<http://www.cambridgeenglish.org/prepare-and-practise/official-cambridge-english-preparation-materials/ielts/>>